

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3 年次生 山田咲子

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成により 2025 年 2 月 23 日から 3 月 28 日の 5 週間でイギリスのノーリッチに訪問したことを報告します。

英語で基本的な会話ができるようになることを目標として短期留学をしました。

2. 語学学校

私が通った学校は、イギリス・ノーリッジにある Norwich Study Centres, Flying Classrooms という語学学校です。2000 年に設立され、アットホームな雰囲気と少人数制のクラスで、一人ひとりのニーズに合わせた英語教育を提供しています。学校はノーリッジ大聖堂のすぐ近くにあり、生活にも便利な環境が整っていました。私はこの学校で、一般英語コース（General English）に在籍しました。このコースは 16 歳以上を対象にしており、初級（A1）から上級（C1）まで幅広いレベルに対応しています。授業時間は、週 15 時間のスタンダードコースか、週 21 時間のインテンシブコースから選ぶことができ、私は午後の選択科目として「Skills & Culture」も履修しました。この授業では、イギリスの文化や日常生活で使える英語表現を学ぶことができました。

授業では、会話と文法を中心に学びました。習った文法を使って実際に会話を進める形式だったので、普段のコミュニケーションの中で自然に文法の使い方を身につけることができました。特に、会話中に時制（過去形や現在完了形など）が正しく使えていないときは、先生がその場で優しく指摘してくれたため、ミスに気づきやすく、とても勉強になりました。先生はみな親切で、質問もしやすく、授業もとてもわかりやすかったです。



5週間の滞在中にクラスのレベルも上がり、交流できる仲間の幅も広がりました。授業の前日には、次の日に話したい内容や使いたい表現をざっくり考えておき、それを翌日に先生やクラスメートとの会話の中で積極的に使うようにして、アウトプットの機会を増やしていきました。また、休み時間や授業中にも、できるだけ他の生徒と話すように心がけました。友達との会話では、より簡単な英語で説明する力も鍛えられたと感じます。

学校に通い始めた当初、日本人の生徒は5人ほどいました。そのほかに、スペイン、ブラジル、中国から来た生徒がそれぞれ1人ずつおり、残りはほとんどがサウジアラビア出身の生徒たちでした。サウジアラビアの生徒たちは皆、イスラム教徒で、私が滞在していた3月はちょうどラマダーン（断食月）にあたっていました。彼らは日中は食事はもちろん、水を飲むことも控えていました。ただし、病気などで薬を服用しなければならない場合などは、ラマダーンを免除されることもあるそうで、みんな自分のできる範囲で無理のないように断食に取り組んでいました。様々な国の生徒と関わり合えて、その国の文化を知ることができ、とても貴重な経験でした。

3. ホームステイ

私は、知人のイギリス人老夫婦の家にホームステイさせていただきました。毎日、手作りの美味しい料理を用意してくださり、食卓を囲んでさまざまな話をする時間がとても楽しかったです。休日には、いろいろな場所にも連れて行ってもらい、イギリスの文化や生活を間近に感じることができました。私の英語にもじっくり耳を傾けてくれたので、安心して会話を楽しむことができ、自然と英語力の向上にもつながりました。学校で先生や友達と話す英語とはまた違う、生きた英語に触れることができ、とても良い勉強になりました。



4. 休日

土曜日と日曜日は学校が休みだったため、ロンドンやケンブリッジへ一人で出かけることもありました。どちらの街も、ノーリッチとはまた違った雰囲気、街並みがとても美しく印象的でした。海外に一人で行くのは初めてで不安もありましたが、わからないことがあれば、自分の英語で現地の人に話しかけながら、旅を楽しむことができました。

また、週末は基本的にホストファミリーがさまざまな場所に連れて行ってくれたので、とても充実した時間を過ごすことができました。



5. 最後に

私が訪れたノーリッチという街は、文化と人々の思いやりにあふれた素敵な場所でした。関わったすべての人がとても親切で、温かく接してくれました。英語を使い続ける環境の中で、常に「どう会話を進めようか」と考えながら過ごすことができ、大きな学びになりました。もともと私は英語に対して苦手意識があり、これまで話す機会があっても自分から積極的に話そうとはしてきませんでした。今回の留学も、始まる前は不安でいっぱいでしたが、実際に現地で生活を始めてみると、周りの人たちが優しく受け入れてくれたおかげで、自分から英語を話す勇気を持つことができました。違う文化を持つ人たちの生活や考え方を聞くことがとても楽しく、積極的に会話を楽しめるようになりました。言いたいことがあっても言葉や表現がわからず悔しい思いをすることもありましたが、それが「もっと英語を学びたい」という強い気持ち

につながりました。この留学を通して、私は英語を話す楽しさを知ることができました。日本に帰国してからは、英語を使う機会は限られるかもしれませんが、今後も英会話の学習を続けていきたいと思っています。自分自身の気持ちにこのような前向きな変化が生まれたことが、何よりの成果だと感じています。